

令和7年度 札幌市立平和小学校

全国学力・学習状況調査結果に係わって

本校の概要	課 題	改善の方向
<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」について、全国平均とほぼ同程度である。 ・「書くこと」について、全国平均を下回っている。特に目的や意図に応じて伝えたいことを明確にすることが、全国平均を下回っている。 ・「読むこと」について、全国平均を上回っている。特に事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力が下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●目的や意図に応じて文章全体の構成を考えること。 ●登場人物の相互関係や心情について描写を基に捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ●文章全体の要旨を捉えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話し手の目的や意図、聞き手の求めていることに応じて、話す際の材料を集め、分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する活動の充実。 ○登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、登場人物の相互関係などを手掛かりにして、性格や考え方などを総合して判断する活動の充実。
<p>〈算数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数と計算」については、示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断することが全国平均を下回っている。 ・「図形」については、全国平均を下回っている。 ・「変化と関係」については、特に、伴って変わる二つの数量関係について考察する力が全国平均を下回っている。 ・「データの活用」については、特に簡単な二次元の簡単な表を読み取り、必要なデータを取り出し分類整理することが全国平均を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●数量の関係を捉え、式に表すこと。 ●角の大きさについて理解すること。 ●必要な数量を見出すこと。 ●簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題の文脈に沿って図などに表すことを通して数量の関係を捉え、式に表す活動、未知の数量を表す記号として□などを用いて、問題場面どおりに数量の関係を、式に表す活動の充実。 ○直角を基準にするなど、角度を求める際に見当を立てた上で回答を出す。 ○変化の様子をICT端末を用いて視覚化を図り、連動して変わる様子を提示することで、子どもが考察しやすくする。 ○興味・関心や問題意識に基づき、必要なデータを収集し、分類整理したり、表や適切なグラフに表したりして、統計的に問題を解決する活動の充実。

<p>〈理科〉</p> <ul style="list-style-type: none">・「エネルギー」については、電流がつくる磁力についての理解が全国平均を下回っている。・「粒子」については、水の結露についての理解が全国平均を下回っている。・「生命」については、発芽のための必要条件についての理解が全国平均を下回っている。・「地球」については、土の粒の大きさによる、水のしみ込み方の違いについて表現する力が全国平均を下回っている。	<ul style="list-style-type: none">●実験結果を自分の言葉で説明する力●目に見えない現象について推論する力	<ul style="list-style-type: none">○各学年、理科の実験において、条件制御を徹底し、1つずつ条件を変えて検証する場を大切にす○可視化の工夫や論理的に考える過程を大切に授業を行う。○自分の予想を実際の結果を照らし合わせ、根拠をもって説明する活動を多く取り入れる。
---	--	--